

MLP関連証券ファンド(為替ヘッジあり)

追加型投信／海外／資産複合

交付運用報告書

(作成対象期間 2024年7月27日～2025年1月27日)

第124期(決算日 2024年 8月26日) 第127期(決算日 2024年11月26日)
第125期(決算日 2024年 9月26日) 第128期(決算日 2024年12月26日)
第126期(決算日 2024年10月28日) 第129期(決算日 2025年 1月27日)

当作成期末

基準価額	6,190円
純資産総額	368百万円
騰落率	11.2%
分配金合計	180円

(注1) 以下本書において、基準価額及び分配金は1万口当たりで表記しています。

(注2) 騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル:0120-668001

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

SMTAM投信関連情報サービス



お客様が指定されたファンドに関する情報(基準価額、レポート)や投資に関するコラム等をLINEでお知らせします。

※LINEご利用設定は、お客様のご判断でお願いします。

※サービスのご利用にあたっては、あらかじめ「SMTAM投信関連情報サービス利用規約」をご確認ください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。さて、当ファンドは、このたび、上記の決算を行いました。当ファンドは、主としてMLP関連証券に投資しました。また、MLP関連証券以外の北米を中心としたエネルギー関連企業の上場株式等にも投資しました。実質組入外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を目指して運用を行いました。ここに期間中の運用状況についてご報告申しあげます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

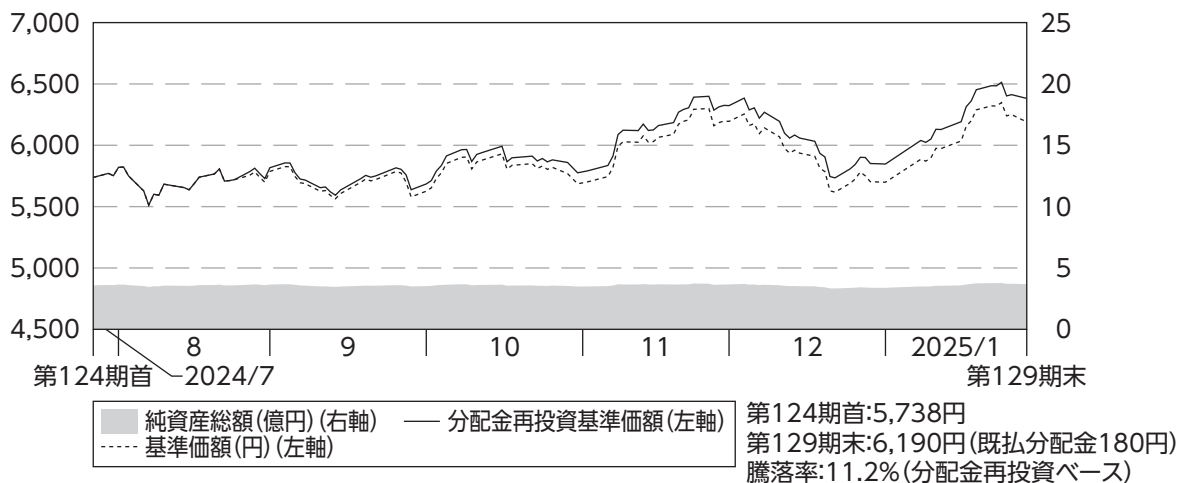
〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。上記ホームページにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2024年7月26日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

2 基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「MLP関連証券ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」の基準価額(分配金再投資ベース)が上昇したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)も上昇しました。

MLP関連証券ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)

当作成期においては、好調な業績や高い配当利回りによりMLPセクター全体が選好される中、基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。個別銘柄では、引き続きテキサス州のパーミアン油井を拠点に天然ガス液の中流事業を担うタルガ・リソースや幅広く米国内で天然ガスおよび天然ガス液のインフラ事業を展開するウィリアムズ・カンパニーズなどがプラスに寄与した一方、米国、中東およびアフリカでエネルギー事業を営むオキシデンタル・ペトロリアム、デラウェア油井を中心に米国内でエネルギー事業を手掛けるデボン・エナジーなどがマイナスに影響しました。

組入ファンド	投資資産	当作成対象 期間末組入比率	騰落率
MLP関連証券ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	MLP関連証券及び北米のエネルギー関連企業の株式等	97.9%	12.2%
マネーブルマザーファンド	わが国の公社債等	0.0%	0.1%

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

運用経過の説明

3 1万口当たりの費用明細

項目	当作成期		項目の概要
	(2024年7月27日~2025年1月27日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	34円	0.591%	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は5,803円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(9)	(0.156)	
(販売会社)	(24)	(0.418)	
(受託会社)	(1)	(0.017)	
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(商品)	(—)	(—)	
(先物・オプション)	(—)	(—)	
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(公社債)	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(d) その他費用	0	0.003	(d) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保管費用)	(—)	(—)	
(監査費用)	(0)	(0.003)	
(その他)	(—)	(—)	
合計	34	0.594	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

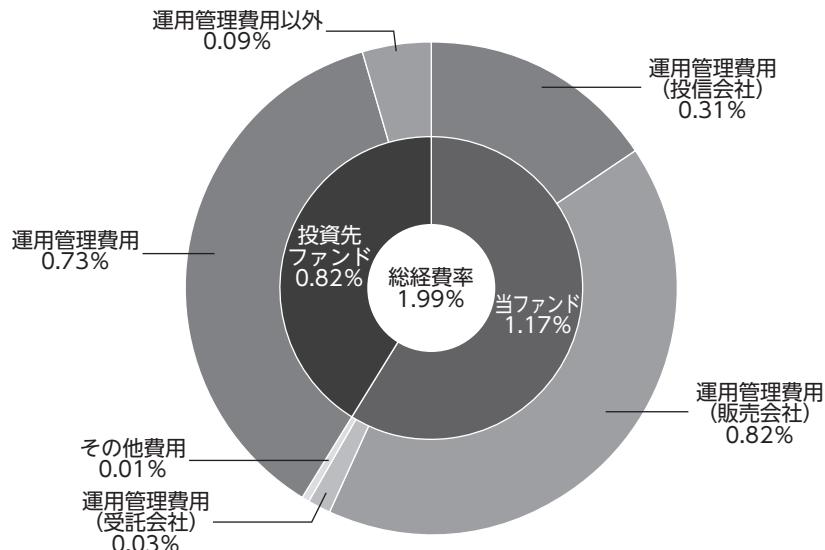
(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません(マザーファンドを除く)。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示しております。

運用経過の説明

<参考情報>

総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.99%です。



総経費率(①+②+③)	1.99%
①当ファンドの費用の比率	1.17%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.73%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09%

(注1)当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注5)当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6)当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

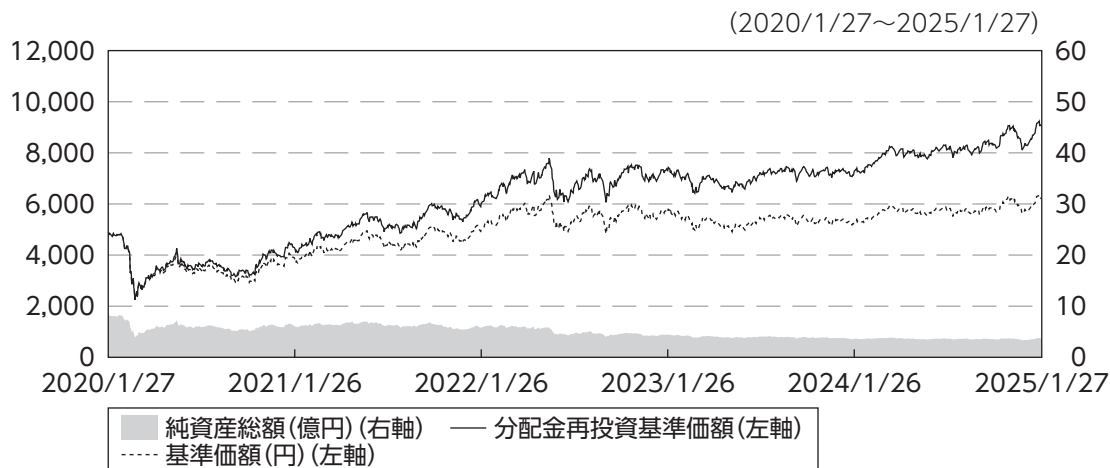
(注7)投資先ファンドの費用は投資先運用会社等から提供された入手可能なデータや情報を基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成しています。

(注8)投資先ファンドの運用管理費用の比率は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値を使用している場合があります。

(注9)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

運用経過の説明

4 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したもとして計算しております。

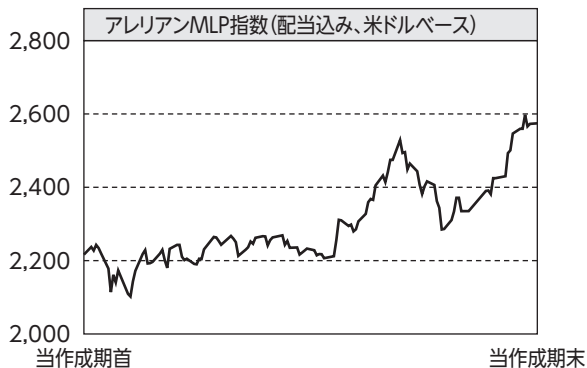
(注2) 分配金再投資基準価額は、2020年1月27日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年1月27日 決算日	2021年1月26日 決算日	2022年1月26日 決算日	2023年1月26日 決算日	2024年1月26日 決算日	2025年1月27日 決算日
基準価額 (円)	4,903	3,840	5,018	5,701	5,300	6,190
期間分配金合計(税引前) (円)	—	360	360	360	360	360
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△13.0	41.5	21.2	△0.5	24.3
純資産総額 (百万円)	828	608	587	438	362	368

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

運用経過の説明

5 投資環境



MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)の動きを示す代表的な指数であるアレリアンMLP指数は上昇しました。

当作成期前半は、軟調な米雇用統計やOPEC(石油輸出国機構)プラスによる減産政策の先行きへの不透明感などを背景に原油相場が軟調に推移する中、MLP市場も上値の重い展開となりました。その後、米大統領選挙で米産原油および天然ガスの輸出に積極的なトランプ氏が勝利し議会選挙でも共和党が上下両院を制したことから、MLP市場は2024年12月中旬以降、当作成期末にかけて上昇しました。

6 当ファンドのポートフォリオ

「MLP関連証券ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」への投資を高位に保つ運用を行いました。

【「MLP関連証券ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」の運用経過】

業界の動向や需給などのマクロ動向分析、および事業種別、地域別などのトップダウンのセクター分析に加えて、個別銘柄のバランスシートに注目して、安定的な配当と持続可能な成長性が見込まれるMLPおよび関連証券を中心にポートフォリオを構築しました。

外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行い、為替変動に伴うリスクの低減を図りました。

<投資対象ファンドについては、運用会社からの情報に基づき掲載しています。>

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

運用経過の説明

8 分配金

分配金額は、各期ごとの経費控除後の利子・配当等収益、基準価額水準等を考慮して以下の通りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
	2024年7月27日～ 2024年8月26日	2024年8月27日～ 2024年9月26日	2024年9月27日～ 2024年10月28日	2024年10月29日～ 2024年11月26日	2024年11月27日～ 2024年12月26日	2024年12月27日～ 2025年1月27日
当期分配金 (円)	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率) (%)	(0.519)	(0.524)	(0.517)	(0.485)	(0.519)	(0.482)
当期の収益 (円)	3	30	23	30	30	29
当期の収益以外 (円)	26	—	6	—	—	0
翌期繰越分配対象額 (円)	1,441	1,448	1,451	1,833	1,834	1,864

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)—印は該当がないことを示します。

今後の運用方針

○当ファンド

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が運用する「MLP関連証券ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」(以下「主要投資対象ファンド」といいます。)への投資を通じて、主としてMLP関連証券に投資します。また、MLP関連証券以外の北米を中心としたエネルギー関連企業の上場株式等にも投資します。主要投資対象ファンドは、実質組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を目指します。

・MLP関連証券ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)

信託財産は、MLP関連証券マザーファンドを通じて、主としてマスター・リミテッド・パートナーシップ(MLP)関連証券及び北米を中心としたエネルギー関連企業の上場株式(預託証券(DR)を含みます。)等に投資します。実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。

・マネープールマザーファンド

主としてわが国の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指します。

お知らせ

ファンドにおける資金の借入について、要件の緩和を行うため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

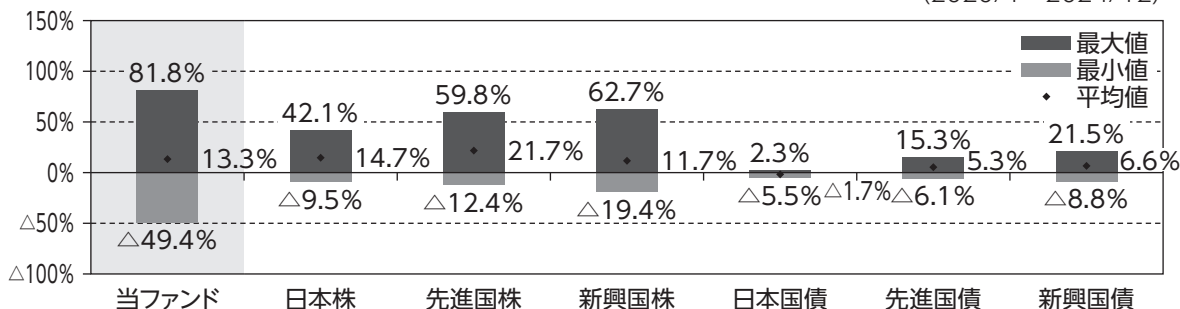
(変更日:2024年10月26日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	信託期間は2014年2月18日から2029年1月26日までです。
運用方針	安定的な収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が運用する「MLP関連証券ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」(以下「主要投資対象ファンド」といいます。)を主要投資対象とします。
運用方法	主要投資対象ファンドへの投資を通じて、主としてMLP関連証券 ^{※1} に投資します。また、MLP関連証券以外の北米を中心としたエネルギー関連企業の上場株式 ^{※2} 等にも投資します。 主要投資対象ファンドは、実質組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を目指します。 ※1 この投資信託において「MLP関連証券」とは、マスター・リミテッド・パートナーシップ(以下「MLP」といいます。)への投資を主たる事業内容とする企業の発行する上場株式 ^{※2} 及びMLP等をいいます。 ※2 株式には預託証書(DR)を含みます。
分配方針	毎月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益の分配を行います。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2020/1~2024/12)



(注1) 2020年1月~2024年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3) 各資産クラスの指数

日本株・・・ TOPIX(東証株価指数)(配当込み)^{*1}

先進国株・・・ MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)^{*2}

新興国株・・・ MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)^{*3}

日本国債・・・ NOMURA-BPI国債^{*4}

先進国債・・・ FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)^{*5}

新興国債・・・ JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円ベース)^{*6}

海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベース指数を使用しております。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※1 TOPIX(東証株価指数)とは、株式会社JPX総研が算出、公表する指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数の指数値及び同指数に係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

※2 MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

※3 MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した世界の新興国株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

※4 NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募固定利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスを基に計算されます。同指数の知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、同指数を用いて行われる当社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

※5 FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

※6 本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は、信託を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

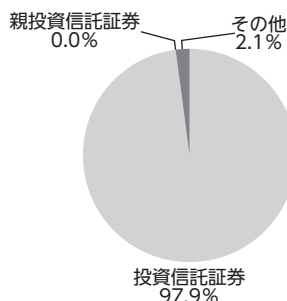
○組入ファンド

	当作成期末
	2025年1月27日
MLP関連証券ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	97.9%
マネープールマザーファンド	0.0%
その他	2.1%
組入ファンド数	2

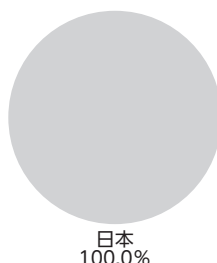
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

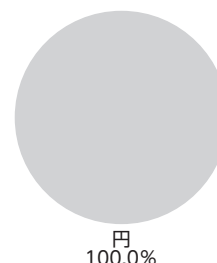
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

2 純資産等

項目	第124期末	第125期末	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末
	2024年8月26日	2024年9月26日	2024年10月28日	2024年11月26日	2024年12月26日	2025年1月27日
純資産総額	363,764,149円	356,114,105円	353,187,983円	362,555,959円	340,719,229円	368,134,255円
受益権総口数	632,047,942口	624,897,290口	612,177,895口	588,656,196口	592,464,676口	594,756,988口
1万口当たり基準価額	5,755円	5,699円	5,769円	6,159円	5,751円	6,190円

※当作成期間(第124期~第129期)中における追加設定元本額は50,997,073円、同解約元本額は81,529,820円です。

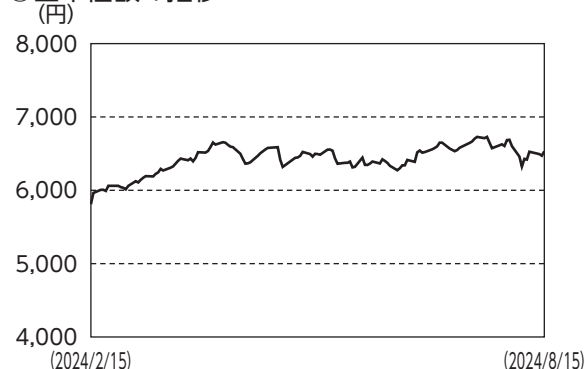
当ファンドのデータ

3 組入ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

MLP関連証券ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)

○基準価額の推移



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものととして当社が別途計算したものです。

○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	ブレイズGPホールディングス	アメリカ	8.8%
2	アレリアン MLP指数 ETN	アメリカ	7.1%
3	アレリアン MLP ETF	アメリカ	7.0%
4	ヘス	アメリカ	6.6%
5	エクソンモービル	アメリカ	6.3%
6	タルガ・リソシズ	アメリカ	5.8%

○1万口当たりの費用明細

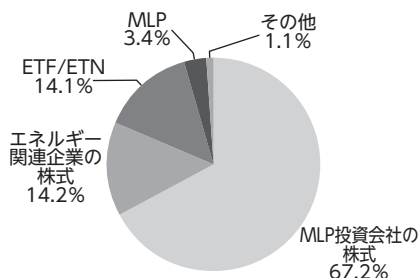
(2024年2月16日~2024年8月15日)

項目	金額
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	24円 (23) (0) (1)
(b) 売買委託手数料 (株式)	1 (1)
(c) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	3 (1) (1) (1)
合計	28

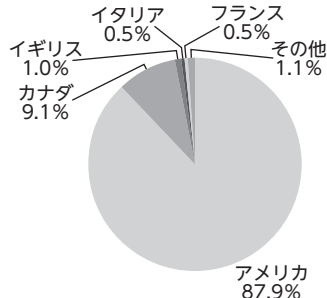
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	エンブリッジ	カナダ	5.0%
8	シェニエール・エナジー	アメリカ	4.8%
9	ワンオク	アメリカ	4.7%
10	ウィリアムズ・カンパニーズ	アメリカ	4.6%
組入銘柄数			31

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

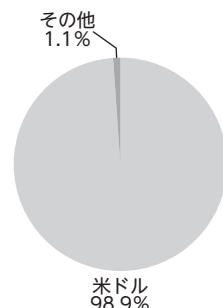
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2024年8月15日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。なお、(d) その他費用の(その他)は、運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用です。

(注3) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

※当該ファンドの運用会社からの情報に基づき掲載しています。

※MLP投資会社とは、GPを所有する企業、および本ファンドにおける投資開始時点でGPを所有していた企業を言います。

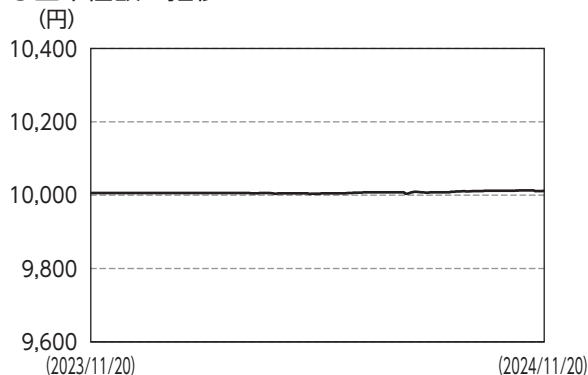
当ファンドのデータ

3 組入ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

マネープールマザーファンド

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2023年11月21日～2024年11月20日)

項目	
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

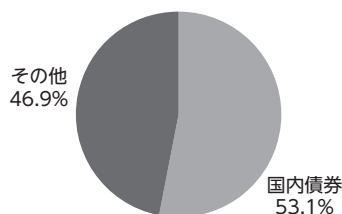
○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	第1220回国庫短期証券	日本	25.2%
2	第1226回国庫短期証券	日本	22.4%
3	第1238回国庫短期証券	日本	5.6%
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—

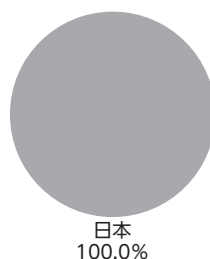
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数		3	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

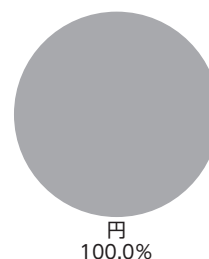
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2024年11月20日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のもので、費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。